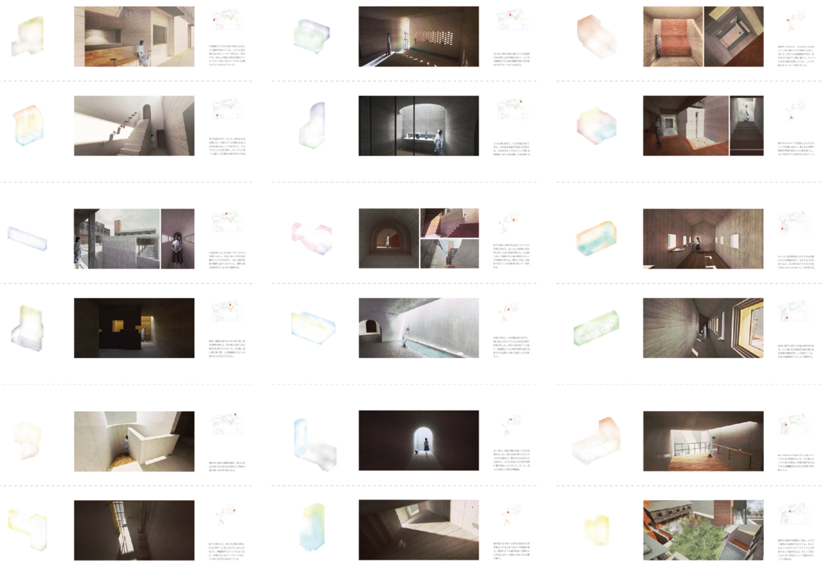
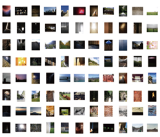
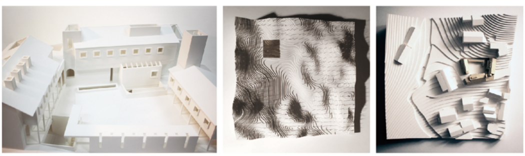
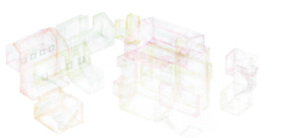
準物体的建築の設計

―建築構成要素としての雰囲気の記録を通じて―



6章　雰囲気を記録すること

準物体的建築を設計する際の重要な要素として雰囲気を導入する。雰囲気とは極めて現実性の高いものであり、自らの雰囲気の経験の蓄積が非常に重要である。本研究では建築やそれを取り巻く自然や風景の雰囲気体験を写真と言語という二つの媒体によって記録した。